

2024年10月29日

各位

日本広報学会 第30回研究発表全国大会（南山大会）開催のご案内

日本広報学会
理事長 柴山慎一
大会実行委員長 川北真紀子

主催：日本広報学会
開催校：南山大学
特別協力：アサヒグループホールディングス 株式会社
後援：株式会社 中日新聞社
一般社団法人 中部産業連盟
一般財団法人 経済広報センター
公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
公益社団法人 日本広報協会
公共コミュニケーション学会
月刊『広報会議』

- ※ この事業は吉田秀雄記念事業財団、南山大学からの助成を受けています。
- ※ デニーサ・ヘイロワ氏の招聘にあたって、東洋大学の支援(2024年度 東洋大学短期海外招聘教授制度)を受けています。

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。記念すべき30回大会を、2024年11月9日（土）・10日（日）の日程で、名古屋の南山大学で実施します。EUPRERA2023の主催校からデニーサ・ヘイロワ氏を、アサヒビールの縣祐一氏を基調講演にお迎えし、社会課題と向き合う広報の役割を考えていきたいと思っています。また、1日目の午前に、SCATの開発者である大谷尚氏から質的研究についての講演も予定しています。グローバルな視点、実務家の視点、アカデミックな視点を取り入れた大会となっています。

会員外の方の参加も歓迎いたします。みなさま、ご参加をお待ちしております。

日時：2024年11月9日（土）・10日（日）

開催校：南山大学（名古屋市）〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

アクセス：地下鉄名城線「**名古屋大学**」駅より教室まで徒歩約15分

大学の案内には、八事日赤駅からの案内がありますが、名古屋大学駅からの方が近いです。

1日目はS棟へ、2日目はQ棟を目指してください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Information/access.html>

統一論題

もの言う広報：社会課題への沈黙は正しいのか？

近年、企業が社会課題に対して声明を出さねばならない機会が多い。これまでは自社の CSR 活動を広報するだけでよかったが、今後は、様々な環境におかれることになるだろう。たとえば、環境によい活動をしているとコミュニケーションしながらも、実際の活動では環境に悪いことを続けているといったグリーンウォッシングは、よく耳にする言葉で批判されてきている。さらに、精査や批判を避けるために、企業が意図的に沈黙を守り、環境に配慮した実践を公表しないことを選択する場合、グリーンハッシング (greenhushing) と呼ばれている。また、欧米の研究者の間では CSA (Corporate social advocacy) という言葉が使われるようになってきている。企業が社会課題に対してどのような立場をとるのかを明確にすることをさし、アジア諸国ではまだ注目されていない。今や、社会課題に向き合うことなく、企業の戦略的コミュニケーションを考えることはできない。

つまり、広報セクションが果たす役割は大きくなってきていると言えるだろう。広報パーソンの使命は、社外だけでなく社内へも物申す存在となることである。そのためには、地球規模での環境や世界情勢を俯瞰しながら、自社がどのように存在しているのかという点を見極める必要がある。社内からでは見えない外部の視座を獲得し、それをふまえて自社にふさわしい共存の仕方を考えるべく、社内に対して進言せねばならないのである。これまでのように、他社の真似をして社会的に良いことをとしている場合ではない。自社ならではの社会課題の捉え方を考え抜き、その立場を社外に表明していかねばならない時代となってきている。

全体スケジュール

11/9(土)		
9:30~	受付開始	S棟3階
10:00~10:10	開会式	S22
10:15~12:00	アカデミック・プログラム 伊藤 直哉氏(北海道大学) 研究委員長挨拶 大谷 尚氏(名古屋経済大学) 「質的研究とはなにかー「量」では測れないものを科学的に考えるためにー」 (昼食)学内の学食, コンビニにて	
13:00~13:10	解題 川北真紀子(南山大学)	
13:10~14:30	統一論題 基調講演1 デニーサ・ヘイロワ氏(カレル大学) 「パラダイム・シフト:企業のコミュニケーションにおける責任のあり方の変化」	S22
14:30~15:00	統一論壇基調講演2 縣祐一氏 アサヒビール株式会社 Responsible Drinking 部 担当部長 「本業で取り組むサステナビリティ経営 スマドリ&レスドリ(Smart Drinking & Responsible Drinking)」 (休憩)	
15:15~16:30	統一論題 パネルディスカッション パネリスト デニーサ・ヘイロワ氏(カレル大学) 縣祐一氏(アサヒビール) 川北真紀子氏(南山大学) モデレーター 佐藤達郎氏(多摩美術大学)	
16:30~16:40	YYsystemのご案内	S22
16:40~17:00	学会賞表彰式 (移動)	
17:30~20:00	懇親会 ※スマート・ドリンクが体験できます。	リアン・カフェ

11/10(日)		
9:00~	受付開始 ポスター発表準備	Q棟3階
9:30~11:45	自由論題 研究発表 4トラック×4セッション	Q415, Q416 Q417, Q418
11:50~12:40	ポスターセッション	Q棟3階 ロビー
	昼食 学食やコンビニは閉店です。お弁当を予約 or 持参してください。	Q313
13:45~16:00	自由論題 研究発表 4トラック×4セッション	Q415, Q416 Q417, Q418
16:15~16:30	閉会式・次回開催校挨拶	Q314

※研究発表(口頭発表)については、別途スケジュールを公開します。

基調講演 1 デニーサ・ヘイロワ氏 Dr. Hejlova Denisa

チェコのカレル大学准教授であり、コミュニケーション・コンサルタントである。戦略的コミュニケーション、パブリック・リレーションズ、パブリック・アフェアーズ、ポリティカル・コミュニケーションの研究、教育、実践に力を注いでいる。

2014年にフルブライト客員研究員としてニューヨークのコロンビア大学に留学、2005-06年には東京外国語大学で異文化コミュニケーションを学ぶ。チェコ外務省で広報担当および広報マネージャー、2011年から23年まで、プラハ・カレル大学のマーケティング・コミュニケーション・PR学科を率い、EUPERA2023の主催校ホストとして活躍した。チェコの読者向けにパブリック・リレーションズおよび戦略的コミュニケーションに関する包括的な書籍を出版。学術誌に定期的に論文を発表し、ドイツ、スペイン、オランダ、日本などの大学で客員講師を務める。2020年、プラハのカレル大学でチェコ初の戦略コミュニケーション修士課程を開始。2023年よりプラハ・カレル大学戦略コミュニケーション研究センター所長。

基調講演 2 縣祐一氏

縣祐一氏 アサヒビール株式会社 Responsible Drinking 部 担当部長

1991年、アサヒビール入社。システムエンジニアとして各種営業支援システムの開発、および営業・調達部門のIT戦略を担い業務改革を推進。その後、量販店営業戦略部門へ異動し、購買者の分析手法開発や流通との協働取組プロセスを導入。2021年よりコーポレート・コミュニケーション部にて「責任ある飲酒」を担当し、アルコール関連問題に関するセミナーやワークショップなど、社内外において様々な啓発活動を展開。2024年9月より現職。

アカデミック・プログラム講演 大谷尚氏

名古屋経済大学特任教授・全学教育推進センター長 名古屋大学名誉教授

専門は、教育学、教育情報学、医学教育、質的研究方法論。初学者でも質的研究に取り組むための質的データ分析手法として、4ステップでコーディングを行うSCATを開発。SCATは現時点で国際誌の70件ほどの英文論文で、国内では1,000本ほどの論文・口頭発表等で採用されている。主な著書は『質的研究の考え方 —研究方法論からSCATによる分析まで—』名古屋大学出版会、2019年。

参加費

研究発表全国大会、懇親会への参加費は下記のとおりです。当日参加を除き、銀行振込でお願いします
(当日参加者は現金でお支払いください)

研究発表全国大会	前納 (10/25 まで振込)	当日
正会員	5,000 円	6,000 円
非会員	6,000 円	7,000 円
学生会員 (院生)	2,500 円	3,000 円
学生非会員 (院生)	3,000 円	3,500 円
南山大学の学生 (院生, 学部生)	0 円	0 円

情報交換会参加費	前納	当日
正会員・非会員	5,000 円	6,000 円
学生会員	2,500 円	3,000 円

昼食 (お弁当)	前納	当日
11/10 のみ	1,000 円	

※11/10 はコンビニも学食も空いていません。近隣まで時間もかかります。昼食を持参いただくか、お申し込みください。

予稿集について

今大会の予稿集は基本的にオンライン化し、大会 HP に PDF 形式で掲載します。個人会員で印刷版を必要とされる方は、1 冊 1,000 円で頒布予定です。

参加申し込み

大会および懇親会参加申し込み 大会 HP より申し込みをお願いします。

<https://www.jsccs.jp/activity/convention/>

ただし、参加費の前納期限は 10 月 25 日 (金) 当日参加可能

実行委員会メンバー

委員長 川北真紀子 (南山大学)

副委員長 福迫昌之 (東日本国際大学) 北見幸一 (東京都市大学)

委員 田代順 (マテリアル) 伊藤直哉 (北海道大学)

大島昌子 (日本広報学会事務局長) 藺部靖史 (東洋大学)

伊吹勇亮 (京都産業大学) 犬飼貴俊 (南山大学大学院)

近藤元 (中部産業連盟) 上原拓真 (電通)

アドバイザー 佐藤達郎 (多摩美術大学)

南山大学 名古屋大学駅からのアクセス

アクセスは、八事日赤駅ではなく、名古屋大学駅 1番出口から山手通門に向かってください。
詳しくは大会 HP の動画を御覧ください。1日目と2日目に分けてご案内しています。



大会 HP
動画案内あります

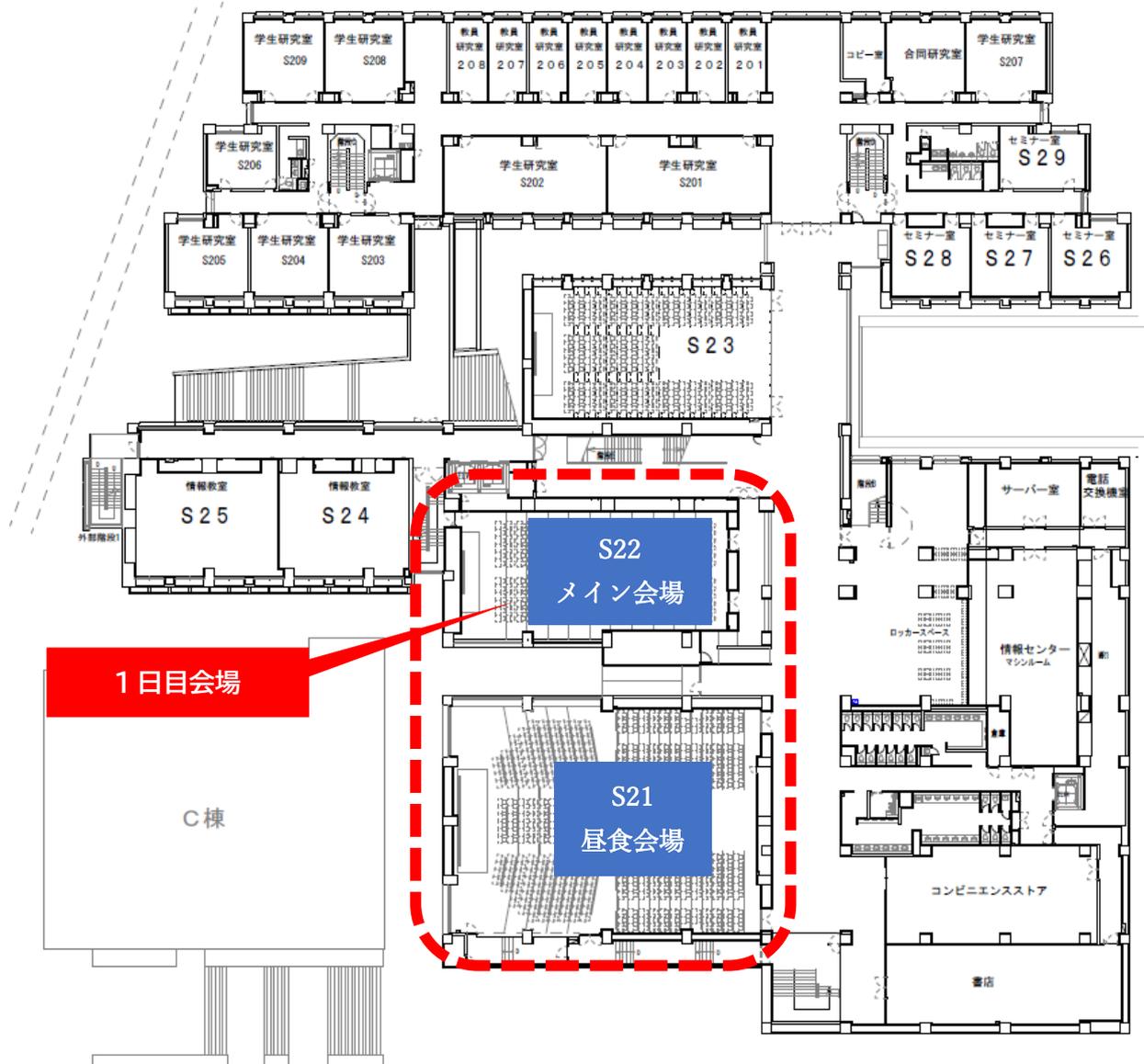


山手通り門はこの看板です。
看板の左側の道を上ってください

キャンパスマップ



S棟 2階



※受付は3階入口

※一般昼食会場 S21, 学生食堂スイーツマジック

※登壇者控室 1(S43), 控室2(S44), 控室3(S46)

Q棟

